

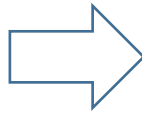
◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：遠ノ平山棚田を守る会
代表者：会長 北島 孝子
URL :

24A-27

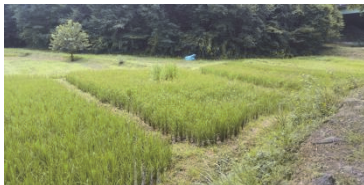
1. 活動が必要とされた状況

休耕田であった田んぼはその面影もないほど荒れ果てた状態であった。一步踏み込めば膝まで泥まみれになるとどぶ田であった。懐かしい棚田の風景に戻すべく復元することで里山の原風景を取り戻すべく強い決意のもとに汗水流しながら田んぼ作業に没頭した。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

3月から本格的に作業し、7枚の田んぼを整備し（耕作はそのうち5枚）雑木化している近接休耕田の木々を伐採、草刈りを実施した。畔道を修繕し漏水対策を施しながら、田おこし、代かき、くろつけを行い、田植えの準備を整えながら、6月には田植え（28人参加）を10月には稲刈り（36人参加）を行い、11月には収穫祭（34人参加）を開催して、今年初めて収穫した米を食する機会を得た。9月には、子供たちを招待して生き物観察会（37人参加）を小川町教育委員会の後援を得て開催した



3. 活動の成果

- ① 内洞沼のホタルの里として環境が保全されているので今回、下部の棚田が復元されたことによって内洞沼全体に棚田が戻ってきた。
- ② 助成によって必要な農機具が購入されて田んぼ作業が確実に行えたが、現実は人力で、どぶ田との日々の闘いの連続であった。
- ③ 内洞沼の上部と併せて、なお一層、棚田の保全が確実にになった。

4. 今後に残された課題

遠ノ平山からの天水の内洞沼ため池の水は冷たく、稲の生育には良くないという指摘がありました。そこで、内洞沼に一番近いNO.1の田んぼを第二のため池として利用するために改修して、水温アップ対策を図りつつ目下その工事中です。

さらに、遠ノ平山へのハイキング道である町道の整備状態が悪いので、近隣住民の健康増進のための憩いの場としての利用を加速させるためにも町道整備も遠ノ平山棚田を守る会の喫緊の重要な推進項目の一つです。